

第38回 千城台地区学校適正配置地元代表協議会議事要旨

1 日 時 平成29年9月27日（水） 18時40分～19時45分

2 会 場 千城台公民館

3 出席者

(1) 委 員 10人 *代理出席 2人（村上委員⇒代理：神谷氏）

（鈴木利委員⇒代理：大橋氏）

（木俣委員の代理として安藤氏が途中まで出席）

（鈴木努委員の代理として中村氏が途中まで出席）

(2) 事務局 5人 *教育委員会 企画課 伊原課長、西課長補佐、塚田主査、川島管理主事、
吉田主任主事

(3) 傍聴者 16人

4 報告・議題

(1) 【報告1】 前回協議会以降の動き（企画課）

① 千城台南小学校と千城台旭小学校の統合について

② 各2校連絡会等からの報告

(2) 【報告2】 平成29年度児童生徒数推計について

(3) 【議題1】 千城台北小学校と千城台西小学校の2校連絡会について

(4) 【議題2】 次回開催日時・場所

5 会議資料

(1) 資料1：「千葉市立千城台南小学校と千城台旭小学校の統合について」

（記者発表資料、統合に関する要望書（写）、統合に係る周知文（案））

(2) 資料2：「2校連絡会〔千城台南小学校と千城台旭小学校〕等の概要（報告）」

(3) 資料3：「2校連絡会〔千城台北小学校と千城台西小学校〕等の概要（報告）」

(4) 資料4：「平成29年度児童生徒数推計」

(5) 参考資料：「千城台北小学校・千城台西小学校」関連資料

6 議事の概要

(1) 【報告1】 前回協議会以降の動き

次のことが報告された。

・8月21日に協議会正副会長から教育長へ「統合に関する要望書」が提出された。

・9月20日の平成29年教育委員会会議第9回定例会において、千城台南小学校と千城台旭小学校の統合に関して、統合校の設置場所を現千城台旭小学校の位置とすること、平成33年4月に新設校を開校することが議決された。

(2) 【報告2】 平成29年度児童生徒数推計

事務局が資料4を基に、29年度に算出した小・中学校の児童生徒数推計について精査した状

況を説明した。

(3) 【議題 1】北小と西小の 2 校連絡会の運営状況等について

北小と西小の 2 校連絡会については、P T A 代表（会長）と個別協議のうえ開催することとし、意見内容等を集約のうえ、具体的な方策を全体会で報告・提案することとした。

(4) 【議題 2】次回開催日時・場所

北小と西小の 2 校連絡会の状況によっては延期することもあるが、次回の協議会（全体会）開催予定日を 11 月 22 日（水）にすることとした。

7 発言要旨

(1) 会長挨拶（角田会長）

この協議会は 38 回目の開催となり、発足してから年数としては 8 年目に入った。この会議の発足当初から現在に至るまで、学校 P T A、自治会関係、学校評議員等、委員の改選はあったが、当初の目的どおり全ての皆さんが同じ方向を向いてずっと 8 年間やってきたと思っている。会長を務めてから 3 年目になるが、就任して初めての会議がこの全体会であった。その時の話し合いでは、小学校が 3 校、中学校 2 校はこのままということで、全体の委員の合意で決まった。

引き続き皆さんには同じ方向を向いて、この会に臨んでいただきたいと思います。

皆さんのおかげで、南小と旭小については、全体合意が得られ、旭小のある場所を利用することで決定されたわけであるが、先月 8 月 21 日に、私と両副会長の 3 名で千葉市教育委員会教育長へ、統合に関する要望書を提出した。新聞等でも報道されているので、皆さんご存知かもしれないが、ご報告させていただく。統合校となる旭小の校舎については、これから先は学校関係者、P T A・保護者の皆さんと、素晴らしい学校に改修できるような話し合いなどが持たれることと思う。

南小 P T A については、教育委員会と 2 回ほど旭小の見学に行ったと聞いている。お互いにどういう学校にしたいかをいろいろ議論していただきたい。

西小と北小は、まだ結論は出ていないが、これから皆さんで中身の濃い良い議論をしながら、少しずつ前にすすんでいけたらと思う。

(2) 報 告

報告① 前回協議会以降の動き

〈山崎議長〉 まず、千城台南小学校と千城台旭小学校の統合について事務局から説明をお願いする。

〈事務局〉

- ・ おかげさまで千城台南小学校と千城台旭小学校の統合が正式に決定された。
- ・ 先月 8 月 21 日に協議会正副会長に教育委員会へお越しいただき、教育長へ「統合に関する要望書」が提出された。
- ・ これを受け、今月 9 月 20 日に平成 29 年教育委員会会議第 9 回定例会にて、千城台南小学校と千城台旭小学校の統合が議決された。具体的には、統合校の設置場所を現千城台旭小学校の位置とし、平成 33 年 4 月に新設校を開校することが議決された。
- ・ 資料 1 は要望書（写）である。ホームページにも掲載しているのでご覧いただきたい。さらに、資料として統合の周知文（案）を添えており、協議会だより同様、関係各所と相談の上、配布・回覧等を行う予定であるので、ご承知おきいただきたい。

〈山崎議長〉 次に各団体からの報告に移る。2 校連絡会関係校以外で、前回 7 月の第 37 回協議

会以降に協議報告のある団体はあるか。

〈自治会関係〉 特になし

〈評議員関係〉 特になし

〈東小・両中学校PTA〉 特になし

〈山崎議長〉 特にないのであれば、2校連絡会関係校からの報告に移る。過去に要望もあったので、順序を変えて、旭小から報告をお願いします。

〈旭小・中村氏〉 旭小では平成29年9月7日と19日の2回にわたって、南小保護者に来校いただいて見学会を行った。こういうところを改善していけるとよいといった様々な意見を交換することができ、これから良い学校にしていけたらと思っている。

〈山崎議長〉 南小で補足事項はあるか。

〈南小・神谷氏〉 今回の見学会に参加したいという保護者は多かったが、参加できたのは一部のみだった。正直なところとして、南小としては、なぜ旭小なのかという思いはぬぐえないが、決定したことなので、良い学校にするために保護者のみんなでアイデアを出して、不安のないようにこれから改修に対して意見を出していきたい。細かい意見はいろいろあるが、多い意見としては、校舎にもうちょっと明るさがほしい、広々と使える空間がほしいといった声は参加者全ての共通した意見だった。そういったところが解消できるような改修工事がなされていくように進めていきたい。前向きに、こういったところをこういう使い方にしたらいいのではないかという意見もたくさん出ているので、保護者同士がコミュニケーションをとりながら、少しでも統合を不安なく迎えられ、良い学校だから通いたいと思えるようにしていきたいという意識をもっている。

〈西小・安藤氏〉 平成29年8月19日に西小PTAと教育委員会事務局で打ち合わせを行った。

〈村山委員〉 平成29年8月30日に北小PTAと教育委員会事務局で打ち合わせを行った。特に報告できるほどの内容はなかった。

〈山崎議長〉 各校への質問等は、本日の協議内容と直接関わるので、次に「報告2 平成29年度児童生徒数推計」について、事務局から資料の説明をお願いします。

報告② 平成29年度児童生徒数推計について

〈事務局〉 資料4の内容について、前回第37回協議会で精査中としていた千城台西小学校の児童生徒数推計値を、実情にあわせて算出し直したものである。西小総児童数の地域ごとの内訳が現状と同様であった場合、このようになっていくであろうという推計となっている。

〈山崎議長〉 事務局からの説明に対して、質問等はあるか。

〈佐々木委員〉 「精査後」とはどういう意味か。

〈事務局〉 「精査後」とは、千葉市全体に活用している画一的な推計の計算式では、千城台西小の推計結果が、実態にそぐわないと考えられたため、前回37回会議では「精査中」とし、改めて精査をさせていただきたいとしてご説明をさせていただいた。その後、個別に精査してきたのが今回お示しした資料である。学区外からの入学状況等、より当該地域の実態に合わせた児童生徒数推計として算出し、今後教育委員会として取り扱う推計値としてお示ししたものである。

〈山崎議長〉 引き続き議題に入る。本日の議題は2点である。1つ目は北小と西小の2校連絡会について、2つ目は次回の開催日時・場所についてである。まず、事務局から説明をお願いします。

- 〈事務局〉
- ・議題（１）として、北小と西小の２校連絡会についてご意見をいただきたい。先ほどの西小の推計資料、修正を加えた参考資料などを必要に応じてご覧いただきたい。
 - ・議題（２）として、次の開催日時等を確認させていただきたい。次回は全体会としての開催を予定している。

議題（１） 千城台北小学校と千城台西小学校の２校連絡会について

- 〈山崎議長〉 今後の話し合いの進め方について、意見等はあるか。
- 〈佐々木委員〉 先ほど、この場では報告することがないという発言があったが、何かがあって２時間話していると思うので、多少の経緯とか流れとか、こういう会話が２時間流れましたみたいなものがないと、報告とはならないと思う。ざっくりいろんな話をしましたよとか、実は対立して２時間ずっと黙っていましたとか、そういう話が多少なりともわかると、話し合っているということがわかる。教育委員会と話したのであれば、何を話したのかなどがあると、話が進んでいるということが委員全員にわかる。
- 〈関委員〉 前回の議事録をみると、今回の協議会で報告をするとなっているが、報告することがないとなると、何を全体会（分科会）で協議するのか全然見えてこない。２校連絡会なり各学校でいろいろ協議はしていると思うが、その報告もなく、何をしにきているのか。全体会に諮ると前回の議事録にも残っているが、諮りようがない。この会は何なのですかとなってしまふ。当事者同士が話しただけで具体的な話が何もなくて、ちょっと考えていかないと、話が進まないのかなと思う。
- 〈村山委員〉 木俣委員が来ないと何とも言えないが、確かに関委員のおっしゃるとおり。今委員全員が思っているわからなさを北小も思っている。北小から発言することがあるとすれば、西小がどう考えているのか、ということが北小もわからない。その辺を西小に聞きたい。皆さんがわからないのと同じレベルで私もわからない。
- 〈南小・神谷氏〉 北小の意見も、私たちはわからないので、報告してもらえるのか。
- 〈村山委員〉 過去７年間ずっと会議をやってきて、北小としては、１年以上前から言っていることだが。私も今年３年目なので、来年もＰＴＡ会長をやれるかわからない。誰かに来年度この話を引き継ぐかを考えた時に、私の代である程度のこれまでの答え、もしくは方向性をつけたいと思っている。過去７年間ずっと話し合ってきて、すべての条件が両校は一緒である。資料を見てもわかるとおり、概ね学校の敷地面積も一緒だし、設立年度も一緒。この要素があるからこっちにしようという決定打が特にない。細かい違いは多々あるとは思いますが。そのうえで、北小の意見としては、話し合いで決めるというのは厳しいんじゃないかということで、今年１年、要素についての話は止めて、どのようにして決めるかを話し合っていこうという提案を西小に話している。それについて、西小から、その話を受けてなのかわからないが、西小の意見が北小もわからない。北小としては、とりあえず話し合いは続けて、要素について話し合っても結論が出ないから、どのように決めるかということ今後集中して話し合っていこうという提案をさせていただいている。それが北小の考えである。
- 〈山崎議長〉 村山委員から、どのように決めるかという選択肢について話があった。前回は２校連絡会で出ていたことだが、北小はどう考えているか。
- 〈村山委員〉 それは話し合いの状況による。例えば、南小・旭小がやったような投票でもよいだろうし、手法としては何通りかあると思う。ただ、私個人の考えとしては、どのように決めるかという話し合い自体も、難しい話だと思うので、その話にすら立てていな

い。スタート地点に立てていない。

〈山崎議長〉 他の委員からご質問はあるか。

〈関委員〉 タイムスケジュール的には、今年度で方向性をどうするかを決めるということではないのか。

〈村山委員〉 南小・旭小と同じ年に統合するのであれば、おそらく1年半くらい前までにというタイムリミットがあることでよいのか。

〈事務局〉 統合というかたちで年度を確認するのか、それとも新しい校舎での生活の視点で考えるのかによって異なる。

〈関委員〉 皆さん、いろいろ考えて協議してきて、なかなか決断できないものだと思うが、このままだとなかなか決まらずに時間が進んでいってしまうような気がする。どうやって決めるかということに集中して、両校で協議していくというのはどうか。

〈村山委員〉 まさにそれが北小の意見である。

〈関委員〉 どうやって決めるかという方法を考えていった方がよい。

〈角田会長〉 南小と旭小の統合が決まったときは、2校連絡会が決めたことは全体会で尊重することとしていた。関委員から発言があったように進めていくと、皆さんのなかでも思っている方も多いと思うが、今北小と西小の2校連絡会が行き詰ってしまうと、南小と旭小のときのように、2校連絡会の意見を全員で尊重しようという話も元に戻さないといけなくなると思う。ずっとそれを待っていると、いつになるかわからないという状況にもなるので、皆さんでどういう方法があるのかを話し合わなければいけない時期が来ると感じている。

〈佐々木委員〉 北小と西小の2校に聞きたいが、例えば南小・旭小に合わせるとか、統合時期について合わせるということについてどう思うか。なぜそこを重視したいかという、今後中学校の問題が出てくると思うが、そうした場合にどちらかがずれていると、当初から懸念材料として協議していたところだが、統合を2回経験する子どもが出てきてしまうと思う。

〈村山委員〉 先ほども言ったように、北小は私の代である程度の方向性はつけたいと思っている。南小・旭小が決まっている状態なので、なるべくそちらに合わせたいと思うが、そのあたりがリミットになってくるのではないかという気持ちはある。

〈山崎議長〉 南小と旭小の統合の年に合わせて、そこまでに期限を決めるということではないか。

〈村山委員〉 そのとおり。南小・旭小の場合は学校に通いながら改修することになっているが、北小・西小の場合は、移動して改修をするので1年くらい統合までの期間は短い。

〈事務局〉 お手元の参考資料で、わかりやすく北小と西小の統合の最短スケジュールについてお示しをしている。こちらは、現在9月の段階で統合の要望書が提出された場合のスケジュールとなっている。例えば1年後に統合の要望書が提出された場合には、1年ずれるので、平成32年4月に統合、平成33年4月に新校舎に移転する流れになる。統合をそろえるのか、新しい校舎での生活をそろえるのか、2通りのことが考えられる。

例えば、今までの話し合いのなかで、期限をどうするかということがあった。前回の会議の中でも、北小・西小から今年度中には何らかの筋道を立てたいという意見も出ていた。PTA会長や代表の方がいらっしゃっているので、子どもを大事にするという視点で、期間的なもの、方法論としてこういうものがあるのではないかとといった話を少しでも伺えればと思うが、いかがか。

＊旭小・鈴木努会長到着

〈鈴木努委員〉 旭小としては、南小の理解があつてうまく話し合いができたと思っている。子どもたちのために、この先どうしたら良くなるのかということを考えて話し合ったらよいのではないか。

〈南小・神谷氏〉 今年中に決めたいのはわかるが、どうしたいかということが大事であろう。私たちはずっと保護者の意見を聞いて、こうしたいという意見が南小としてあった。同じように旭小にも意見があった。最終的に南小の子ども達は耐震不足により未使用の校舎があつて、教室が十分に使えていない、学校としての機能が十分ではないと感じる状況の中にあつて話を進めてきた。そのため、一刻も早く決めようということが大前提にあつて、あのような決め方をした。西小と北小が、もし、南小と旭小の統合時期にタイミングをそろえるとしても、まだ時間はある。2年後に決まったとしても同時スタートできる。その間にやれることはたくさんあると思う。南小に、もしもっと時間があつたら、事前にお互いの学校の見学をしたり、委員の皆さんに学校を見てもらったりできた。急に、同じように投票で決めますといわれても、委員の皆さんの判断材料がない。やれることがあることを踏まえて、何年何月に決めるとか、それでも筋道だと思う。いろいろな角度でできることがある。改修するにしても、こちらの校舎の方が改修費がかからないということがあるのであれば、その分の予算で別のことができるという考えもある。いろいろな判断材料があると思うので、何を優先させるかということを含めて、もうちょつと話し合ったらどうかと思う。

＊西小・木俣会長到着

〈木俣委員〉 2校連絡会を全体会で報告する方向に決めさせていただいて、何回か教育委員会と話し合いの場を持ったが、その中で決定的に決められることがなかったのが現状。村山委員からもお話があるが、2校連絡会のなかでどのように決めていくかを話し合いの中で進めている。西小としては、話が戻ってしまい失礼な部分もあると思うが、適正配置が始まった当時と現状の西小を取り巻く環境が大きく変わっている。私がPTA会長に就任した3年前と比べても、小学校の周りの住宅環境が著しく変わっていて、児童数の半数以上が学区外からの児童で占められている。学区外地域から通っている児童の方が多くなっている現状があり、その環境が、この先も続いていくものとする、児童数も年々増加する傾向がみられると思う。そのなかで、学区外の子どもと既存学区から通っている子どもで形成されている良好な現状を、わざわざ崩してまで学校の統合をした方がいいのか、現状の学級数を維持できるのであれば、維持した方がいいのか、そのあたりも話として出てきているのが現状である。

また、北小との話し合いの中では、特別支援についても話題となっていた。特に、通学路の安全については心配の声があがっていた。もし仮に西小が統合校の位置となると、通学できない子どもが出てくるということであると、そもそも西小と北小で統合を検討することが、難しいのではないかと思います。そういったところが出てきたので、一回立ち止まって考えてみたら、北小は北小で学校を残したいという思いが強いと思う。西小も、学区外が中心というかたちではあるが、人数を確保できるような現状なので、立ち止まって考える時間がもしあれば、もう一回考えてみたいというのが意見としてある。

〈山崎議長〉 木俣委員の意見を述べられたことについて、ご意見等はあるか。

〈南小・神谷氏〉 西小の思いはわかる。十分な時間がまだあると思うので、十分に話し合いを続けてい

いと思う。

〈木俣委員〉 現状で西小の児童数は伸びていて、西小に通わせることを希望する保護者がいるなかで、仮に西小が無くなった場合、それはおかしい話になると感じる。

〈村山委員〉 北小がなくなるのはおかしくないということか。

〈木俣委員〉 そのあたりも地域バランスといった観点かと考えている。そのあたりも確保しながらもう一度改めてお互いの学校を見直すことも必要か。特別な支援が必要な児童には多様な選択肢があっていいはず。

〈村山委員〉 異議あり。特別支援学級については、北小として全体会で主張したことがない。その話が出るのは違和感がある。

〈山崎議長〉 北小からはどのように決めるかを西小にずっと話をしていると報告があった。期限はどうするかということについては、南小と旭小の統合時期に合わせていきたいと村山委員からお話があった。そのなかで、西小からこの話は無しにしてほしいということになると、後戻りはしないという方針が変わり、戻ってしまう。そこを踏まえてどう思うか。

〈木俣委員〉 統合は地域も絡んでくるし、これから住もうとする人への影響もある。ただ単に学校をどちらかにしようという問題よりも、そもそも子どもの教育環境に適した結果を出すことに目を向けたほうがいいと思う。それは北小の児童のことも考えてのことである。この先西小は学区外の児童が中心で成り立っていく学校になりつつあり、学区内外を問わず、児童の教育環境を考えていくことが大切だと思う。

〈佐々木委員〉 千城台地区としての適正配置を検討していて、これまでも特別支援については焦点にしていない。北小は統合の時期について話し合っているというような方向があった。一方で西小はそんな感じでない方向があった。両校で話していることが食い違っていて、2校連絡会が機能しているのか疑問にさえ感じる。8月19日の教育委員会との打ち合わせでもそういう会話が出ているのか。

〈事務局〉 8月19日と30日にそれぞれ個別に事務局と打ち合わせを行った。その際にはいろいろな話がでており、先ほど話に出てきた事項もあったが、両校が顔を合わせて話をしている状況ではない。事務局が両校の仲介をしながら、情報を伝えている段階であるため、前回の全体会から2校連絡会は開催できていない状況である。そのような状況もあり、本日分科会終了後に、両校会長に残っていただいて2校連絡会に準ずるような話し合いの場を設けることとしている。

〈村山委員〉 今年度は1回しか2校連絡会が開催されていないが、北小は最初から西小へ開催しようと呼び掛けはしている。

〈木俣委員〉 村山委員から2校連絡会の日程を決めてもらえれば、それに合わせていただけるという話はいただいている。迅速な対応ができていないことに、申し訳ない思いがある。年度でPTA役員が入れ替わったこともあり、まずは2校連絡会の前に、事務局と役員が変わったPTA本部との顔合わせとして打ち合わせをして、そのあとに今日の分科会に臨むこととしていた。

〈関委員〉 今日の分科会で、2校連絡会での報告できないとすると、次の全体会でどういう話をするのか。そこをしっかりともらわないと、全体会でどういった意見を言っていないかわからない。ぜひ2校間でそこをよく話し合ってください、少なくとも分科会では、それぞれでどういった意見がでているということを集約して伝えてほしい。このままでは話が進まず、どういった会議なのかわからなくなる。

〈南小・神谷氏〉 先ほど木俣会長が特別支援学級について言及され、ここでは一度も出してない話だからとの発言があったが、2校連絡会では論点になっているのか。

〈村山委員〉 2校連絡会は代表以外の方を交えた本部同士の協議の場合なので、個別の抱えている事情も話は出てくる。

〈南小・神谷氏〉 議事録がないかたちで自由に意見を述べられているかと思うが、西小の意見を聞いているとそこも大きな論点のように思う。

〈事務局〉 事務局では8月にそれぞれ西小・北小と話を進めてきたが、教育委員会では適正配置実施方針に従って事業を進めてきた。実施方針の中では、小規模校の状況は子どもたちのいろいろな活動や学校の機能、教職員の状況を含めて、子どもにとっては望ましい環境ではないという考えである。千城台地区のように小規模校が隣接している地区をまずはより良い教育環境にしようということで進めてきた。事務局から報告をさし上げたように、西小は適正配置に取り組んできた当初と比べて、急速に児童数が増えている状況がある。6～7学級だと厳しいが、将来的に10～12学級になるという推計が出ており、一つはそういう特徴がある。

また、北小には特別支援学級が7学級あり、今まで取り組んできた地区のなかでは1～2学級だったが、教育的な実績も残してきており、歴史もある。それを無視するわけにはいかないという認識はある。それぞれ特徴があると思う。

教育委員会としては、先ほども申し上げたように、学年単学級の規模では子どもたちがこれからの新しい学習活動を行っていくうえでは、何らかの解決策は考えていかないといけないと考えている。ご報告したように、会議後に今一度北小・西小PTA会長と協議会正副会長を交えて話し合いの場を持つ予定である。その結果を以て、改めて全体会に諮っていききたいと考えている。

なお、南小・旭小の統合の一番のきっかけは、両校の役員が中心となって、統合場所よりも、まずは子どもたちの環境づくりを一番にしようという合意点があったところだった。今回、北小、西小は多様な意見をまさに今集約するのに苦慮されているところであると認識している。ご理解願いたい。

〈角田会長〉 両校に確認したいが、統合に関しては、このまま進めるということでのいいのか。皆さんの意見を出し合いながら、2校連絡会の考えを尊重して協議を進めていくという考えは変わらないということでのいいのか。

〈村山委員〉 問題はない。

〈木俣委員〉 西小としては、統合場所が西小でなくなるリスクを含めた統合ではなく、校舎が整備されたり、教育環境がよくなったりするという統合に関しては、進めていきたいという考えである。

〈角田会長〉 このあたりの論点が曖昧では、この分科会が終了した段階では、統合の話はこのまま終了なのかという印象を持たれると思う。

〈村山委員〉 今の木俣委員の発言について、もし西小が西小を統合場所にしたいと主張されるなら、北小としては北小を統合場所にするならば統合に賛成という考えになる。

〈山崎議長〉 この後、2校のPTA会長と事務局と協議の場があるので、今後北小と西小は事務局との相談のうえ、2校連絡会等で協議を進めるという方向にさせていただきたい。

〈佐々木委員〉 そもそも論点が決まっていなかったなかで、今日分科会を開催する意義があったのか。

〈事務局〉 今回に至るまで事務局で意見集約ができなかったことについてはお詫びしたい。2校もそれぞれ集約したいということで、努力してきていただいたところではあったが、

時間が足りなかった部分がある。今日この後に実際に２校の話し合いを継続させていただいて、なんとか少しでも話が具体的になるようにしていきたいと思うので、ご了承ください。

議題（２） 次回開催日時・場所

〈山崎議長〉 先ほどの協議の流れもあるが、事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉 昨年度には、全体会を一度延期している。一旦日程を設定させていただき、実際に北小と西小との協議を進めていく。場合によっては日程の変更もあり得るが、提案をさせていただきたい。今回は、例年の時期で考えると、１１月下旬が候補になろう。毎回水曜日を開催日程としていることも併せて、次回１１月２２日（水）１８時３０分から２０時３０まで、会場はこちらの千城台公民館大ホールにて開催することによってどうか提案する。

〈山崎議長〉 一応の予定であるが、提案の日程でよいか。

〈委員一同〉 異議なし

（３）連 絡

- ・ 協議会の状況を各所属団体へ伝達いただき、意見集約のご協力をお願いしたい。
- ・ 内容整理の上、後日議事録要旨（案）を送付させていただき、確認終了後にホームページに掲載する。
- ・ 会議終了後は、村山委員、木俣委員については、お時間をいただきたい。
- ・ 今後欠席や遅刻等が見込まれる場合の対応について、事務局への電話でのご連絡をお願いするとともに、代理出席という手法もあるのでご協力をお願いしたい。

〈委員一同〉 質問等なし

（４）会長挨拶（角田会長）

前回の全体会議の時に、２校連絡会の話について、中身が分からないことがたくさんあるという委員の声があった。２校連絡会の中身はできるだけ、全体にわかるようにしていきたいと申し上げたように思うが、本日も同じようなご意見があった。できるだけ、来ていただいた方皆さんに情報を少しでも多く今後出していくような進め方にしていきたいと思う。今日、分科会では、予定として日程の提案があったが、この後、北小・西小のＰＴＡ会長とお話しできる時間をいただいている。内容によっては、次回の全体会を延期する可能性もあると思っている。できるだけ予定通り開催したいとは思いますが、少し考える時間が長くなりそうな感じもしている。先ほども申し上げたように、皆さんにできるだけ情報を流しながら会を進めていきたいと思う。